平成24年９月７日

各　　位

会　社　名　株式会社　フジシールインターナショナル
代 表 者 名　代表執行役社長　　岡﨑　成子
（コード番号　７８６４　東証第一部）
問 合 せ 先　執行役　経営企画･ＩＲ･法務担当
阪口　善直
（TEL　０３－５２０８－５９０２）

# 当社グループ会社の元従業員における不正行為に関するお知らせ

当社グループ会社である株式会社フジシールにおいて、同社の元従業員による不正行為が行われていたことが判明し、本日、当該元従業員を刑事告訴することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

このような事態が生じたことは極めて遺憾であり、株主・投資家の皆様をはじめ、取引先及び市場関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけすることとなりましたことを深くお詫び申し上げます。

記

１．不正行為の概要

設備部門の技術部長職であった当該元従業員は、偽りの購入手続きにより、平成18年10月から平成22年10月にかけてパソコンを購入し、第三者に転売する手法で現金を着服し、私的な用途に流用していたもので、現時点で明らかになった不正購入額は約47百万円であります。

２．当社の対応について

本件発覚後、当社において直ちに調査委員会を設置し、詳細な社内調査を実施しその内容等の解明に取り組むと同時に、顧問弁護士等と今後の対応を協議してまいりましたが、その内容と被害額が明らかになったため、当該元従業員を刑事告訴することを決定いたしましたので本日の開示にいたりました。

当社といたしましては、当該元従業員に対して責任を追及するとともに、債権の回収に努めるなど厳正に対処してまいります。

３．業績への影響

当該不正行為による被害金額については、平成24年３月期までの過年度決算において費用処理されておりますが、当社の過年度における連結決算に与える影響は軽微であり、また、平成25年３月期連結業績への影響等につきましても軽微であると判断しております。

４．今後の対応について

当社グループは、「フジシールグループ倫理綱領」を掲げ、行動規範とする「グループコンプライアンス管理規程」を定め、これを周知徹底し定着を図ることで、健全な企業体質に向けたグループ経営を推進してまいりましたが、今回の元従業員による不正行為のような計画的かつ継続的な犯罪行為に対しての内部統制が十分に機能していなかったことを厳粛に受け止めており、現在、業務プロセスの見直しや牽制機能の強化など内部統制システムの見直しを行い、再発防止に取り組んでおります。

以　上